大阪市立大学 OSAKA CITY UNIVERSITY　OCU-COIL

**プレスリリース**

大阪科学・大学記者クラブ　御中

2020 年 3 月 6 日
大 阪 市 立 大 学

**今、求められているのはオンライン教育の充実**

# 急遽、海外研修プログラムをオンライン上で実現へ

大阪市立大学では、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、米国アンドリュース大学との米国共同研修旅行(2020 年 3 月 11 日～3 月 24 日)の渡米を中止し、本学学生はそれぞれの自宅からオンラインで参加することとなりました。日本にいながら米国の学生と協働でワークを進め、当初計画していた教育プログラムを実現させます。

オンラインでの海外研修は初の試みです。新型コロナウイルスの流行により発案されたプログラムですが、今後このようなオンラインを活用した教育プログラムの開発の発展に寄与できることが期待されます。ぜひ取材をご検討いただきますようお願いいたします。

※本学では、2020 年 2 月 17 日に学生・教職員の海外渡航自粛の方針を決定しております。

当初予定していた研修プログラム

・アンドリュース大学および本学学生が共同で米国の老人向けのデイサービスセンターや自閉症児を対象とした特別教育施設へのインターンシップを実施。

変更後のオンライン研修プログラム

・アンドリュース大学の学生は予定通りインターンシップを行い、現場の様子の動画や写真を撮影し、本学学生とオンライン上で情報共有を行う。
・本学学生は、日本における同様の施設に電話インタビューなどを行い、調査を実施。
・研修期間中は 2 週間毎日、日米でインターネット接続を行い、それぞれの調査報告を共有。

※プログラムの詳細は 3～4 頁に記載しています。

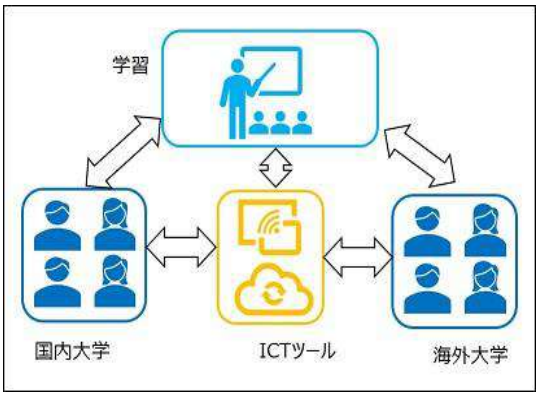
【参加者数】大阪市立大学　9 名（社会人大学院生含む）
　　アンドリュース大学　9 名

**担当教員からのコメント**

楽しみにしていた渡米はできませんが、本学の学生が日本から参加することで、日米の違いをしっかりと捉えられるようなプログラムに改善できました。福祉やボランティアを支える社会の在り方の違いにまで遡ってアメリカの学生としっかり討論します。

大学院経済学研究科
中島義裕 教授

＜概要＞




本学は文部科学省の平成 30 年度「大学の世界展開力強化事業～COIL 型教育※を活用した米国等との大学間交流形成支援～」に選定されており、本米国研修旅行もこの事業として計画されたものです。米国側のパートナーのアンドリュース大学とは、2018 年より COIL 型教育を行っています。

両大学のこれまでの経験と実績を生かし、本学の学生が渡米し、アンドリュース大学の学生と共に行う予定だった学習プログラムを、COIL 型教育として実施します。本学学生は自宅に居ながら米国の学生と共に約 2 週間の教育プログラムに参加し、日本の状況を電話インタビューなどで調査し、米国の学生の実地調査と比較するようなプログラムに改変しています。2 週間の海外研修旅行を COIL 型教育として実施するのは、おそらく世界でも類のないことだと思われます。外国人学生とともにそれぞれの国で同じ社会問題に向き合い COIL 型教育として協働する事で、現地での研修とは異なった気づきや学びが得られることが期待されます。

※COIL 型教育…ICT 技術を利用して、海外の大学と接続し協働して学習する方法。

COIL 授業の様子
（左）大阪市立大学、（右）アンドリュース大学

【本件に関するお問合せ先】
大阪市立大学 COIL 推進室　担当：鈴木
TEL：06-6605-2249
E-mail：coil-jimu@ado.osaka-cu.ac.jp

【取材に関するお問合せ】
大阪市立大学広報課　担当：長谷川
TEL：06-6605-3411
E-mail：t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

ご参考

<プログラムの流れ>
米国で計画しているインターンシップ先
１）ローガン自閉症センター：自閉症児を対象とした課外学習施設
２）ネイバー・ツー・ネイバー：キリスト教系の地域福祉施設
３）ハーバーハウス：認知症ケアなどを得意とするシルバーケア施設
（日本）　日本の学生のみで学習する時間です。
（米国）　米国の学生のみで学習する時間です。
（共同）　日米が ZOOM（Web 会議）で接続し、共同で学習する時間です。
（共同）もしくは（日本）の部分は、ご取材可能です。（黄マーカー部分）
事前に取材を申し出て頂いた場合、教員は大学キャンパス内からインターネットに接続して指導します。

- **3 月 11 日—3 月 16 日　プレキャンプ　（インターンシップ先に関する基礎知識）**
  - （日本）　3 月 11 日　??:00-??:00 (調整中)　本学学生向けオリエンテーション
  - （米国）米国時間　3 月 11 日 17:30-18:30 米国学生向けオリエンテーション
  - （共同）　3 月 12 日　7:30-9:30 (米時間　3 月 11 日 18:30-20:30）ウェルカムセレモニー
  - （日本）　3 月 12 日　9:30-14:00 文献調査１
  - （米国）　米国時間 3 月 12 日　14:00-18:30 文献調査１
  - （共同）　3 月 13 日 7:30-9:30 (米国時間　3 月 12 日 18:30-20:30）調査１の日米比較
  - （日本）3 月 13 日 9:30-14:00 文献調査２
    - 3 月 14 日—15 日：　休日
    - 米国：カルチャーツアーを実施し、動画やプレゼンテーションを作成
    - 日本：日本食の作り方などの動画やプレゼンテーションを作成
  - （米国）　米国時間 3 月 15 日 14:00-18:30 文献調査２
  - （共同）3 月 16 日　7:30-9:30 (米国時間　3 月 15 日 18:30-20:30）文化交流と調査２の日米比較
- **3 月 16 日—3 月 18 日　インターンシップ前半**
  - （日本）3 月 16 日　9:30-14:00 日本国内の実態調査（米国との類似施設の調査）
  - （米国）　米国時間 3 月 16 日　9:00-16:00 インターンシップ１
  - （共同）3 月 17 日　8:00-9:00　（米時間 3 月 16 日 19:00-20:00）インターンシップ１のまとめ
  - （日本）3 月 17 日　9:00-13:30 日本国内の実態調査
  - （米国）　米国時間 3 月 16 日 9:00-16:00 インターンシップ２
  - （共同）3 月 18 日 8:00-9:00 (米国時間 3 月 17 日 19:00-20:00)　インターンシップ２のまとめ
- **3 月 18 日—3 月 19 日　中間キャンプ　インターンシップ前半まとめとインターンシップ後半の計画**
  - (日本)3 月 18 日　9:00-13:30 インターンシップ前半まとめインターンシップ後半の計画
  - (米国)　米国時間 3 月 18 日　14:00-18:30　インターンシップ前半まとめと後半の計画
  - (共同)3 月 19 日 7:30-9:30 (米国時間 3 月 18 日 18:30-20:30) インターンシップ後半の計画の協議
- **3 月 19 日—3 月 21 日インターンシップ後半**
  - (日本)3 月 19 日 9:30-14:00 日本国内の実態調査
  - (米国)　米国時間 3 月 19 日 9:00-16:00 インターンシップ３
  - (共同)3 月 20 日 8:00-9:00 (米国時間 3 月 19 日 19:00-20:00) インターンシップ３のまとめと協議
  - (日本)3 月 20 日 9:00-13:30 日本国内の実態調査

- （米国）　米国時間 3 月 20 日 9:00-16:00 インターンシップ 4
- （共同)3 月 21 日 8:00-9:00（米国時間 3 月 20 日 19:00-20:00）インターンシップ 4 のまとめと協議

- 3 月 21 日―24 日ポストキャンプ
  - （日本)3 月 21 日 9:00-14:00 日本語版レポート作成
  - （米国）　米国時間 3 月 22 日 14:00-18:30 英語版レポート作成
  - （共同)3 月 23 日 7:30-9:30（米国時間 3 月 22 日　18:30-20:30）日米のレポート比較と協議
  - （日本)3 月 23 日 9:30-14:00 日本語版レポート完成＆最終プレゼンテーション作成
  - （米国）　米国時間 3 月 23 日 14:00-18:30　英語版レポート完成＆最終プレゼンテーション作成
  - （共同)3 月 24 日 7:30-9:30　（米国時間　3 月 23 日　18:30-20:30）　最終報告会＆フェアウェル

文部科学省「大学の世界展開力強化事業～COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援～」採択事業

# 米アンドリュース大学合宿研修

## - 社会課題に向き合う14日間 -

**研修期間：2020年3月10日（火）～ 25日（水）　研修場所：アンドリュース大学（米ミシガン州）**

14日間にわたり、大阪市立大学とアンドリュース大学で混成チームを編成し、アメリカ・ミシガン州での研修旅行をおこないます。
社会課題解決の現場に入り、グループワークやインターンシップを通して深い学びを体感しませんか？

**申込方法**　募集人数10名（選考あり）

←募集要項＆申請書はコチラ　申請書に必要事項を記入の上、その他必要書類のコピーを添付して右記のアドレスに送付してください。 提出先アドレス：coil-jimu@ado.osaka-cu.ac.jp

**主催**

大阪市立大学
COIL推進室

CU-COIL
OSAKA CITY UNIVERSITY

## この研修旅行について

- 大学の世界展開力強化事業「共創的ソーシャルイノベーター育成プログラム」の一貫として実施します。
- 国内外での協働を通し、自らの専門性と独自性に基づいて社会課題の解決に当たり、行政、NPO、企業等で主導的な役割を果たすことができる人物を育成します。
- 社会的課題の解決に必要とされる６つのスキルを養います。
  ①論理的思考力　②情報活用力　③外国言語・文化に対する理解
  ④表現力　⑤社会貢献力　⑥コレクティブ・インパクト

## 研修の流れ

### 1 事前キャンプ
社会課題についての基礎知識を得て、アンドリュース大の学生と社会課題について検討

### 2 インターンシップ前半
グループごとに異なる研修先を訪問し、それぞれの現場で課題を発見

### 3 中間キャンプ
現場で体験した知識と現実のギャップをふまえ、自分たちができる課題解決の仮説を立案

### 4 インターンシップ後半
・インターン先スタッフへ仮説の提案
・仮説の具体的な検証方法を検討

### 5 事後キャンプ
これまでの学習とインターンシップ経験を総括し、日英両語でSIレポートを作成＆発表

## 参加者の声 2019年９月（DLSU x OCU@阪南）アンケートより抜粋

この研修は、他の人にもぜひ知ってもらいたいような本当に素晴らしい機会。このプログラムは**これまでの私の経験をはるかに超えるもの**でした。

最終レポート作成は、社会課題を分析したり討論するのに大変役に立った。日本が直面している問題が持つコンテクストを理解し、英語のスピーキング力を高めるには、素晴らしい方法だったと思う。

インターンシップの経験は決して忘れないし、家族や友達にも伝えたい。

**「協働」って問題に向き合うための本質だと思う。**

学びと新しい体験に満ち溢れた特別な経験。

もう一回参加したいです。翻訳などは量が多かったり、なかなか通じていないことが多くてしんどかったけど、本当に楽しかったです。

この研修旅行は、**異文化を経験したり新しい価値を創造したい人**には、絶対おすすめ。

英語をたくさん使ういい機会にもなったし、**一生ものの友情**もできた。

## 研修実施場所

### アメリカ合衆国ミシガン州 アンドリュース大学

アンドリュース大学は学生数５千名程度のキリスト教系の私立大学。「知識を求め、信仰をまもり、世界を変える」がモットーです。（ https://www.andrews.edu/ ）

## 費用

大学負担　：研修費、航空券
参加者負担：上記を除く全ての諸経費（宿泊費、食費、交通費その他雑費）
参考　　：対象者は奨学金申請が可能です。

## 申込方法　募集人数10名（選考あり）

←募集要項＆申請書はコチラ

申請書に必要事項を記入の上、その他必要書類のコピーを添付して下記のアドレスに送付してください。
提出先アドレス：coil-jimu@ado.osaka-cu.ac.jp
電話番号：06-6605-2249　web：http://www.coil.osaka-cu.ac.jp/

## 主催

大阪市立大学COIL推進室　OCU-COIL